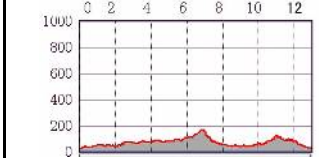
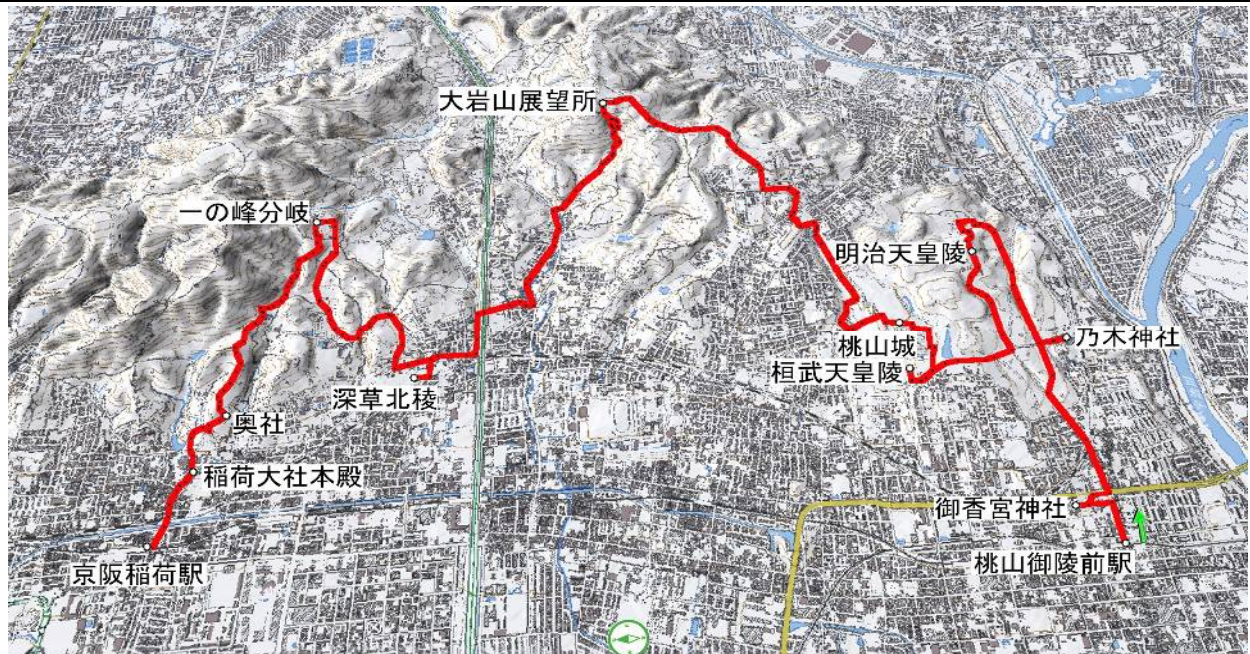


ゆっくり登山16:京トレ1 伏見桃山

コース	桃山御陵前駅 →0.3km/6′ →御香宮→1.1km/15′ →乃木神社→1.2km/21′ →明治天皇陵 →1.2km/18′ →桓武天皇陵→0.6km/8′ →桃山城→2.6km/45′ →大岩山展望所→ 2.3km/41′ →深草北稜→1.7km/30′ →一の峰分岐→1.2km/21′ →奥社→0.4km/5′ →稻荷 大社本殿→0.4/5′ →稲荷駅		
水平距離	13.0km	断面図	
累計高低差	登り373m、下り372m		
標準歩行時間	3 : 35	縦軸：高度m	
実績歩行時間	3 : 28	横軸：距離km	



山行報告

山行日 2020・7・5 (日) 天候 曇り 参加者 10名

行動 桃山御陵前駅9 : 57→御香宮10 : 05～10→乃木神社10 : 24～32→明治天皇陵10 : 49～11 : 07→桓武天皇陵11 : 23～27→伏見桃山城 (昼食) 11 : 34～12 : 08→山展望所12 : 50～13 : 05→深草北稜13 : 52～59→一の峰分岐14 : 23～36→伏見稲荷奥社14 : 56～15 : 01→本殿 (解散) 15 : 07→京阪稲荷駅15 : 14

記録

雨天予報だったが、結果は終日曇りで熱中症の心配もなく無事に歩けた。
3月から6月までコロナ禍で例会を自粛したので5ヶ月ぶりの山歩きである。コースは史跡めぐり主体のハイキングコースで再開初回としては最適だった。
古代史探訪シリーズで飛鳥と奈良を歩き、今回から平安時代に入る。京都一周トレイルコースを軸にして歩こうと考えている。京トレ伏見・深草ルートは2014年11月に既存の京トレコースに追加されたルートで、京都に都を移した桓武天皇陵や明治天皇陵などもあって見どころの多いコースである。
withコロナ時代の山歩きのあり方を試すのも今回の目的の一つである。疲労軽減と熱中症対策のために、街中以外ではマスクを外し、適度な距離をとって歩くことにした。

桃山御陵前駅から御香宮へ移動して簡単なミーティング、お詣りして乃木神社へ向かった。参拝をし境内を見学して、桃山御陵へ向かった。正面の230段の石段を登る人と東陵へ行く人に別れた。明治天皇陵と皇后陵を参拝し、眼下の展望を楽しんだ。次に桓武天皇陵へ進み、ここで京トレ道に合流し、道標を確認した。すぐ東にある駐車場から伏見桃山城に入り、芝生広場で適度に別れて昼食をした。

昼食後、伏見北堀公園を東進し、道標に気をつけながら街中を抜けて、標高差60mの大岩山展望所へ向かった。ダラダラした登り道でここが意外に厳しかった。展望所からの景色は素晴らしかった。ここからの下山は大岩神社の参道を通る山道で注意して下った。車道と合流し12人の天皇が祀られている深草北稜を参拝。その後稲荷大社へ向かった。

京都市立工学院高校の横を通り竹林道を60m程上り切ったところが稲荷山や一の峰の分岐で、ここから稲荷大社奥宮へ下った。F35の道標があり伏見・深草ルートの終点。鳥居を潜り抜けて稲荷大社本殿前で解散した。